

当院における肝臓病教室の 設立と運営について

福井県済生会病院内科

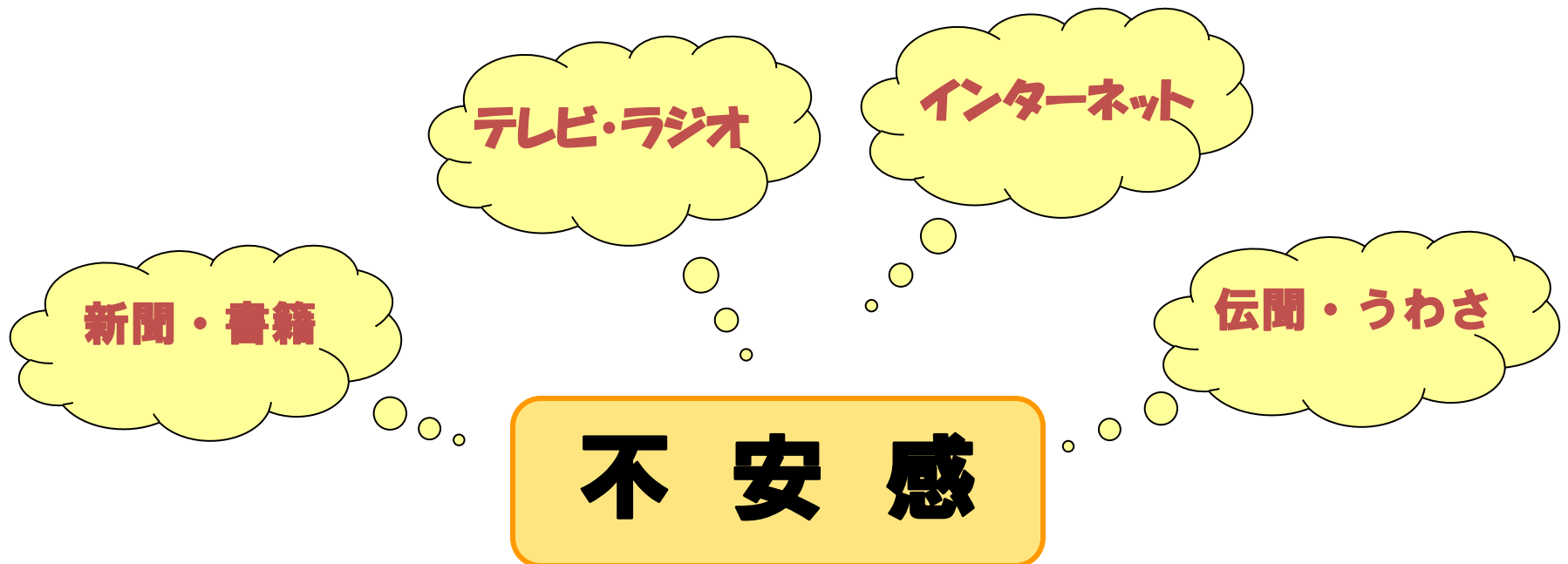
野ツ俣和夫

肝臓病、特に慢性肝疾患の患者数は

増加の一途を辿っている。

医療の進歩により肝臓の診断法・治療法が大きく変化

各疾患において **新たな治療の取り組み**

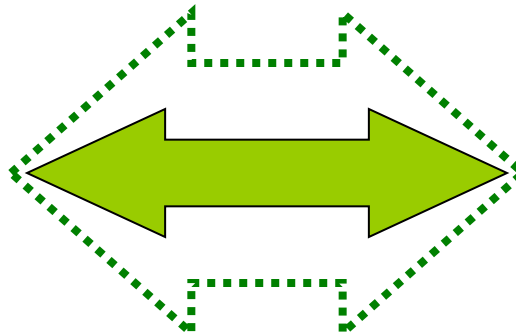


外来診療

医師



患者さま



検査の意義・種類・方法

検査値の見方



食事の内容

病院食のお話

お薬の種類

副作用の情報



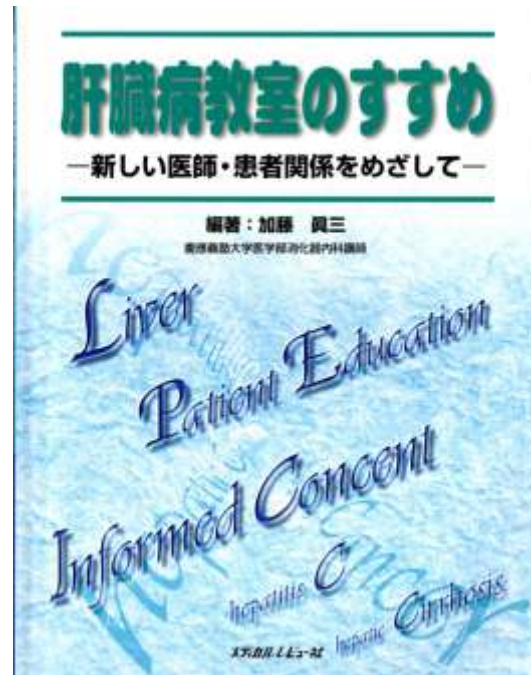
日常生活の注意点

今後のポイント



肝臓病教室

- 1992年に慶応義塾大学加藤眞三先生が発案。
- 医師の患者さんへの説明の補助として開始。
- 患者さんに集まっていたいただいて教室形式で行う。
- 他職種の職員も加わり、専門分野を担当する。
- 患者さんのQOLを高める事を目標にする。
- 患者さんの自律性を尊重する。



肝臓病教室開催までの経緯 (福井県済生会病院)



慶應義塾大学病院にて肝臓病教室を見学

(平成17年3月)

内科医師・管理栄養士・薬剤師



肝臓病教室運営委員会を発足

(平成17年4月)

内科医師2名、看護師(外来・病棟)5名

管理栄養士2名、臨床検査技師2名、薬剤師2名

医療事務2名、医療秘書2名



職員を対象とした肝臓病勉強会の開催

(平成17年12月)



肝臓病教室をスタート

(平成18年4月)



『肝臓病教室』 運営委員会

月1回開催

内科医師

管理栄養士

臨床検査技師

看護師

薬剤師

医療事務・医療秘書



肝臓病教室運営 ……講義内容、講義資料、教室設営



職員教育プロジェクト ……院内教育委員会合同
……特別講演等の企画



継続運営の検討



関連講演会等への参加



各種データ収集・解析



院内肝臓病勉強会の開催

医療スタッフにも肝臓病の知識を幅広く持っていただきたい



- ・肝臓病総論
- ・肝炎
- ・肝硬変・肝癌
- ・脂肪肝・アルコール性肝炎

4テーマ／全6回

医師・看護師・栄養士・検査技師
薬剤師が専門分野の講義を実施

連携施設へ案内配布・・・院外スタッフの参加呼びかけ

平成18年 4月 13日より

肝臓病教室

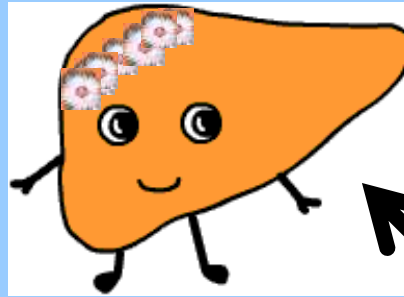
が始まりました

(毎月第2木曜日の15:00～17:00)

場所:本館2F 医師会交見室

テーマ

- | | |
|---------------|-------------|
| ①慢性肝炎 | H18.4.13(木) |
| ②肝硬変・肝がん | H18.5.11(木) |
| ③アルコール性肝炎・脂肪肝 | H18.6.8 (木) |
| ④日常生活の自己管理 | H18.7.13(木) |



日時：毎月第2木曜日

時間：15:00～17:00

場所：医師会交見室

参加費：無料

事前予約・申し込み：不要

皆様お気軽にご参加ください

肝臓病教室キャラクター
“肝子(きもこ)”

皆様、お気軽にご参加下さい。参加費は無料です。

肝臓病教室講義の風景（教室スタイル）



講義内容

出来るだけ写真や図を使用して
分かりやすく説明。とくに誤解を招き
やすい事について説明する。

- C型肝炎インターフェロン治療の進歩(医師)
- 肝臓病食。高カロリー-高蛋白食の功罪(栄養士)
- 服薬上の注意。健康食品の功罪(薬剤師)
- 肝臓病の安静度。運動の重要性(理学療法士)
- 検査値の見方。個々の検査の意味(検査技師)
- 日常生活の注意。感染予防の方法(看護師)
- 肝炎医療助成制度、身障者手帳(医療事務)

肝臓病教室

毎月第2木曜日 15:00～17:00

場所 本館2F 医師会交見室

参加自由・無料



肝臓病教室とは

肝臓病に関する正しい情報を提供し、治療に対する不安を取り除きます。
医療者と患者様のコミュニケーションの場でもあります。

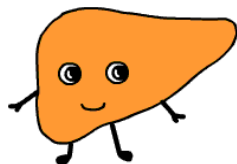


スケジュール

- 4月 9日(木) 肝臓総論・日常生活の自己管理 (医師・検査技師・看護師・リハビリ)
- 5月14日(木) 慢性肝炎 (医師・薬剤師・栄養士・事務)
- 6月11日(木) 肝硬変・肝がん (医師・薬剤師・栄養士・事務)
- 7月 9日(木) アルコール性肝炎・脂肪肝 (医師・検査技師・栄養士・リハビリ)
- 8月13日(木) 肝臓総論・日常生活の自己管理 (医師・検査技師・看護師・リハビリ)
- 9月10日(木) 慢性肝炎 (医師・薬剤師・栄養士・事務)
- 10月 8日(木) 肝硬変・肝がん (医師・薬剤師・栄養士・事務)
- 11月12日(木) アルコール性肝炎・脂肪肝 (医師・検査技師・栄養士・リハビリ)

※各講義30分ずつ。残り30分はグループワークを予定しております。

皆様ご友人・ご家族の方をお誘いあわせの上、お気軽にご参加下さい。



福井県済生会病院
肝臓病教室運営委員会

肝臓病教室

毎月第2木曜日

15:00～17:00

1テーマ毎に3人の講義
医師＋専門スタッフ
(薬剤師、栄養士、検査技師、理学療養士、看護師、医事課事務)

30分×3: 講義

30分 : グループワーク

グループワーク



3つ程度のグループに分けて、
スタッフを交えていろいろと話し合っ
ていただく。

- 個別に聞きたい質問
- 治療をされた方の体験談

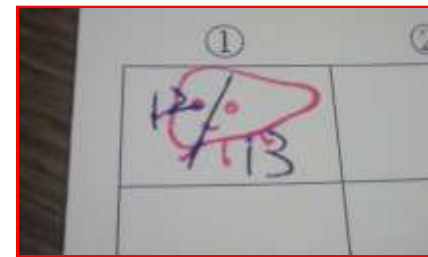
など患者さまに好評です



継続運営の取り組み ……継続受講・繰り返し受講

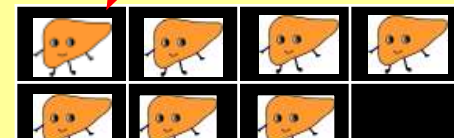
講義内容の検討(毎回アンケートを取る)

スライド内容を毎回少しずつ変更……最新の情報を提供
動画、模型の活用……視覚的にわかりやすく
治療費・医療費控除・補助金の話。リハビリ科の参加



特別講演会、大質問会の開催

1年に1回程度開催できるように検討
通常講義以外でより詳しく知りたいような内容
通常のスタッフ以外の講演



参加カードの配布

一回ごとにスタンプを一個
4回講演すべて受講すると…





福井県済生会病院

肝臓病教室

毎月第2木曜日 PM:3~5時
済生会病院 本館2階

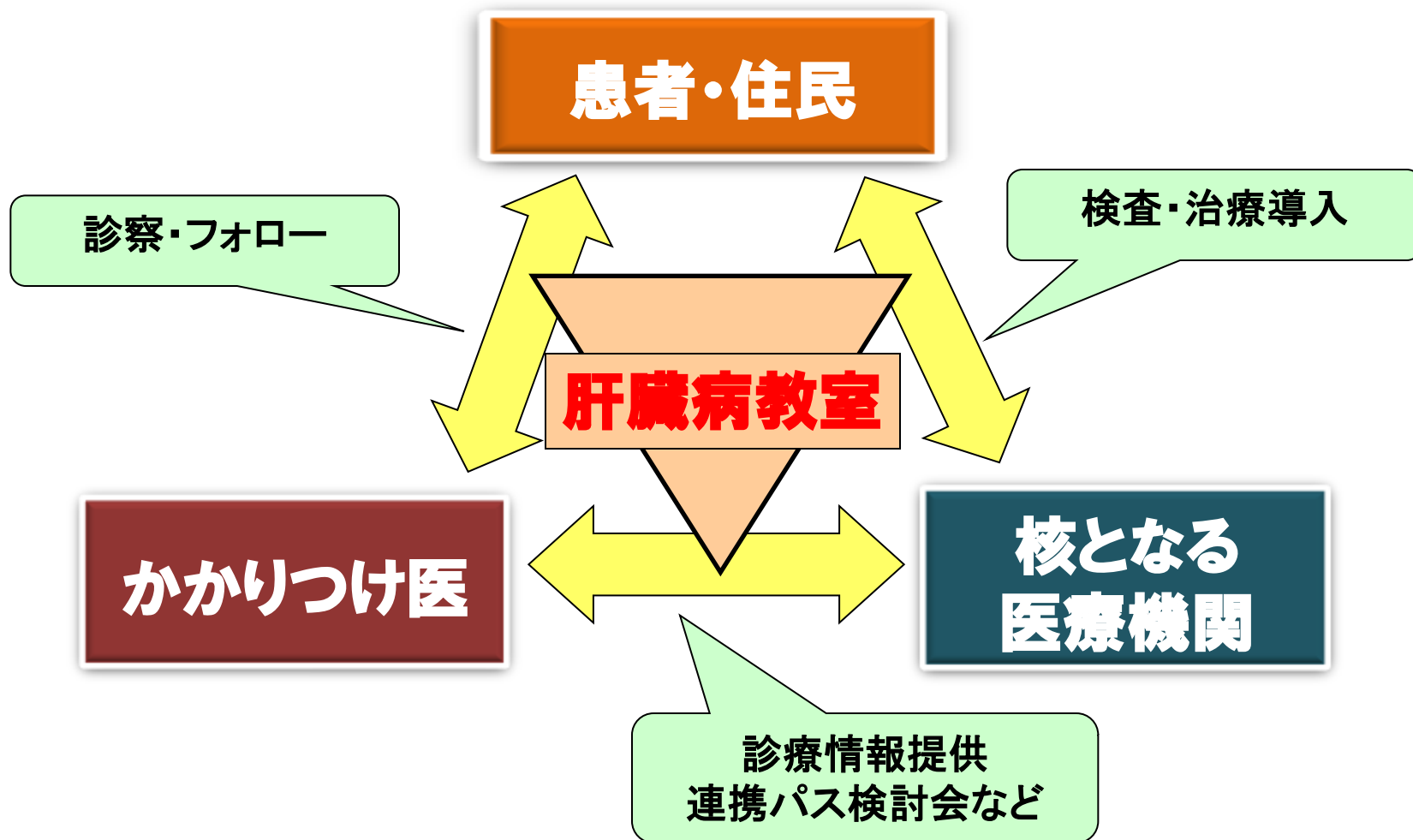


参加状況 (平成18年4月～平成20年1月・現在)

 のべ参加人数	472 名
 肝臓病教室委員の医師に受診	347 名
 済生会病院に通院	83 名
 済生会病院に通院歴なし・他院への通院	42 名

他院からの参加者増 = 地域連携の推進

3者間での肝臓病教室の関わり



3者間での肝臓病教室の関わり

患者さんに対して十分な説明、正確な説明を実施する。
患者さんの知りたい情報が得られるようにする。

済生会病院

紹介される患者さんが、肝臓病教室の話聞き、ある程度検査や治療を把握されており、医師からの話が理解しやすくなる。
逆紹介がスムーズに行える。

患者・住民

照会先の病院の治療方針・実績などを知ってから紹介される。
紹介後の治療スケジュールが理解できでおり不安が少ない。

かかりつけ医

治療方針など説明されており紹介がスムーズに出来る。
さらに、連携パスを使用することで円滑な連携治療が出来る。
患者さんとの良好な関係が維持出来る。

肝臓病教室と地域医療連携

- 連携登録施設への教室パンフレットの
配布・施設への掲示依頼
- 各種関連勉強会・講演会の開催、教室紹介
- 連携パスの積極的取入れ・活用
- 外部教室の開催

教室のゴールを何に求めるか。

教室の実際の効能の評価

- 生存率
- 肝癌の発生率
- 入院期間・回数
- **患者のQOL**
- 患者満足度
- 治療の適応者の治療受け入れの拡大
-

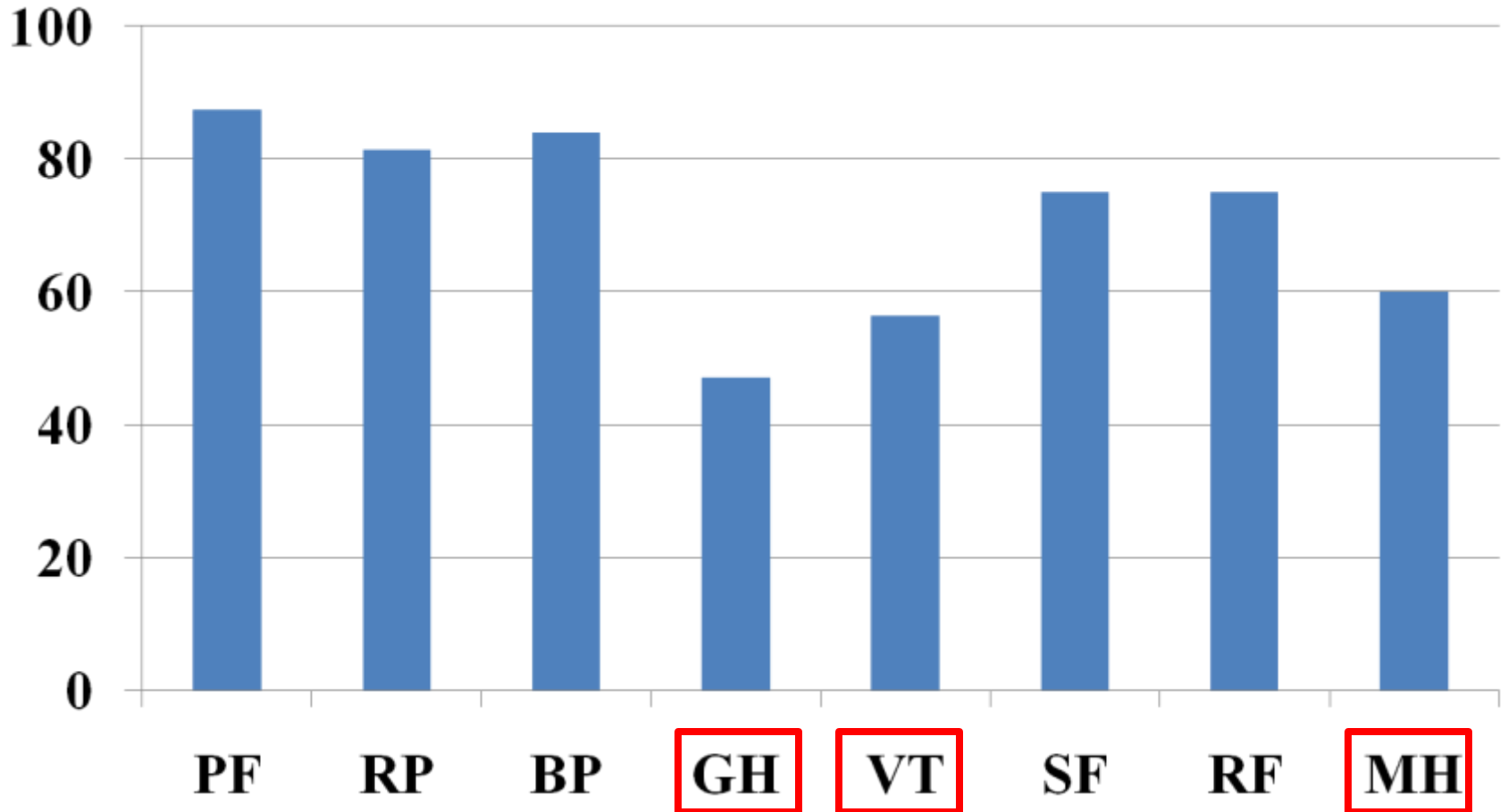
SF-36のサブスケールと主な質問内容

計36個の質問があり、それぞれに点数がついており、集計する。最高100点(いたって健康)。8つのサブスケールに分かれている。

身体機能	(PF)	過去1ヶ月間の健康上の理由による日常生活の制限の有無について
日常役割機能 身体	(RP)	過去1ヶ月間の身体的な理由による仕事や普段の活動制限の有無について
体の痛み	(BP)	過去1ヶ月間の痛みの有無について
全体的健康感	(GH)	健康感について
活力	(VT)	過去1ヶ月間の活力について
社会生活機能	(SF)	過去1ヶ月間の精神的または身体的な理由による社会的活動の妨げの有無について
日常役割機能 -精神	(RE)	過去1ヶ月間の心理的な理由による仕事や普段の活動制限の有無について
心の健康	(MH)	過去1ヶ月間の精神状態について

SF-36を利用して、肝臓病教室参加前後での患者さんのQOLの変化を評価する(前65人で実施)

肝臓病教室参加65人のSF36結果 (下位尺度得点平均値)



肝臓病教室に参加する人は、**全体的健康感(GH)**、**活力(VT)**、**心の健康(MH)**が**低い**傾向がある。

福井新聞記事(こだま)

平成22年11月18日

闘病仲間と勉強
不安消え力強い

鯖江市

(71歳)

てもらいました。その時、先生から肝臓病教室のことを聞き、出席するようになりしました。

初めはよく分かりませんでしたでしたが、退院してからも月1回、できるだけ出席しています。各講義の後30分は、私たちの質問に、先生方はじめ各分野の師長、看護師、薬剤師、栄養士が的確に教えてくださいたいです。説明を聞くと、不安が少しずつ消えていくように思います。

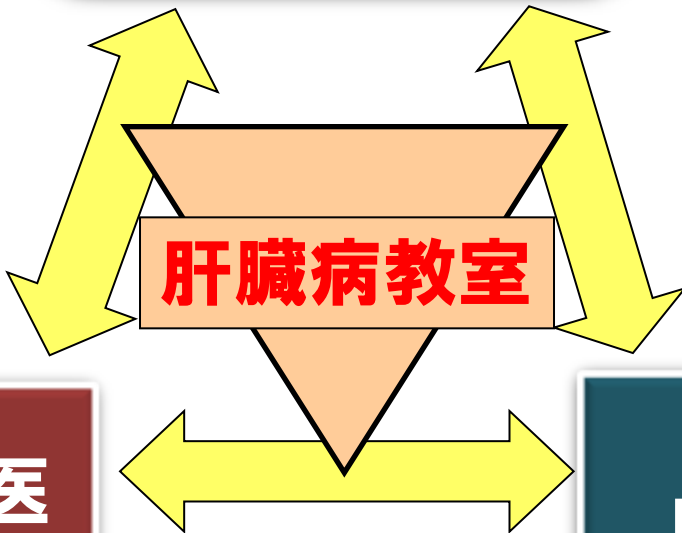
年を重ねると、いろいろなことがとても不安で、私の前には不安しかないように思う時があります。でも肝臓病教室に参加するようになって、同じ病気を持つ人たちとも親しくいろいろなことを話して、とても力強く思っています。

病気になったのは不幸なことだけれども、皆さんと勉強ができることは、とても幸せなことだと思っています。私にかわりあってくださっている方々、いつもいつも本当に感謝しています。心の中でいつも「ありがとうございます」と言っています。

まとめ

不安解消
QOL向上

患者・住民



スムーズな紹介
良好な関係

かかりつけ医

スムーズな検査、
治療、逆紹介

核となる
医療機関

安心して肝臓病治療ができる潤滑油としての肝臓病教室

肝臓病教室スタッフ(医師、薬剤師、検査技師、 栄養士、看護師、理学療法士、医療事務)

